



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月10日

上場取引所 名

上場会社名 コムシード株式会社

コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽成 正己

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 小倉 誠

TEL 03-5289-3114

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,132	34.0	22	31.3	18	29.7	4	—
28年3月期第3四半期	844	△3.1	17	△68.2	14	△70.4	△50	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	0.95	—
28年3月期第3四半期	△9.87	—

(注) 29年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

28年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	943	545	57.7
28年3月期	746	524	70.0

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 544百万円 28年3月期 521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	49.6	80	74.4	75	74.4	70	—	13.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益の予想値は、平成29年3月期第3四半期における期中平均株式数を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	5,243,292 株	28年3月期	5,195,995 株
29年3月期3Q	— 株	28年3月期	— 株
29年3月期3Q	5,207,788 株	28年3月期3Q	5,149,504 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績の予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
（継続企業の前提に関する注記）	6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	6
4. 補足情報	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済の概況は、景気が緩やかに持ち直しを見せております。個人消費に関しては低迷が長期化しているものの、その回復は緩やかなペースで進んでおります。当社の事業領域であるスマートフォンアプリ関連市場におきましては、スマートフォン保有者の4割以上がソーシャルゲームを利用しているとの調査結果もあり※、引き続き安定した需要が見込まれます。※参考:総務省「平成27年版情報通信白書」

当第3四半期会計期間において、当社は引き続きスマートフォン向けゲームアプリケーションの提供を中心に事業を展開しております。

売上高につきましては、既存事業のソーシャルゲーム『グリパチ』が会員数350万人に迫るペースで順調に推移したほか、新規のパチスロシミュレーターアプリを計画通り投入したことにより、前年同期を上回りました。

営業損益においては、著作権料等の増加および第4四半期以降に収益獲得が見込まれる外注費等の計上により売上原価が前年同期比では大幅に増加しましたが、『グリパチ』および従量版アプリの売上が好調に推移したこと、前年同期の利益を上回ることができました。

なお、前四半期までに、特別損益における知的財産権譲渡益の計上および一部ゲームタイトルに係る減損損失を計上しました。また、繰延税金資産につきましては、将来減算一時差異の増加を要因に追加計上しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,132,333千円（前年同期比34.0%増）、営業利益22,719千円（前年同期比31.3%増）、経常利益18,606千円（前年同期比29.7%増）、四半期純利益4,955千円（前年同期は四半期純損失50,806千円）となりました。

当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

①ソーシャルゲームについては、バーチャルホール『グリパチ』が、各種キャンペーンの実施や2タイトルの新規アプリ投入等によって、引き続き売上を伸ばしたほか、第4四半期以降に配信予定の新規アプリの開発・配信準備を進めました。会員数も当第3四半期において350万人に迫るなど、引き続き順調に推移しております。

②パチンコ・パチスロ系スマートフォンアプリについては、新たなジャンルとして、パチンコアプリの開発及び配信を開始いたしました。今後パチスロアプリと同様に、マルチプラットフォーム展開による収益化を図って参ります。

③その他、ゲームパブリッシング事業においては、前四半期に引き続き複数新規タイトルの開発が進行しております。また、当期に新設した開発本部においては、新規事業創出を視野に入れた研究開発と、開発効率の向上に取り組んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末から197,323千円増加し、943,508千円（前事業年度末比26.4%増）となりました。

これは、主に流動資産で現金及び預金286,684千円、仕掛品11,954千円が増加したものの、受取手形及び売掛金34,343千円、その他40,051千円が減少したこと、固定資産で有形固定資産2,510千円、無形固定資産9,962千円、投資その他の資産12,898千円が減少したことによるものです。

②負債

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末から175,986千円増加し、398,144千円（前事業年度末比79.2%増）となりました。

これは、主に流動負債で買掛金17,085千円、短期借入金41,460千円が増加し、固定負債で転換社債型新株予約権付社債82,500千円、長期借入金27,460千円が増加したことによるものです。

③純資産

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末から21,337千円増加し、545,364千円（前事業年度末比4.1%増）となりました。

これは、主に第3回無担保転換社債型新株予約権付社債の権利行使に伴う株式の発行により、資本金8,750千円、資本剰余金8,750千円の増加と、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金4,955千円の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月12日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

減価償却方法の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益への影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	257,397	544,081
受取手形及び売掛金	249,356	215,012
商品及び製品	1,499	—
仕掛品	7,978	19,933
原材料及び貯蔵品	2,063	2,014
その他	82,758	42,707
流動資産合計	601,053	823,749
固定資産		
有形固定資産	13,953	11,442
無形固定資産	45,689	35,726
投資その他の資産	85,488	72,590
固定資産合計	145,131	119,759
資産合計	746,185	943,508
負債の部		
流動負債		
買掛金	120,056	137,142
短期借入金	—	41,460
1年内返済予定の長期借入金	16,664	24,872
未払法人税等	4,518	9,797
その他	49,024	45,445
流動負債合計	190,263	258,717
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	82,500
長期借入金	—	27,460
退職給付引当金	10,269	10,269
役員退職慰労引当金	19,197	19,197
その他	2,427	—
固定負債合計	31,893	139,426
負債合計	222,157	398,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	784,452	793,202
資本剰余金	215,561	224,311
利益剰余金	△478,021	△473,066
株主資本合計	521,992	544,447
新株予約権	2,035	917
純資産合計	524,027	545,364
負債純資産合計	746,185	943,508

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）
売上高	844,857	1,132,333
売上原価	539,094	816,496
売上総利益	305,763	315,837
販売費及び一般管理費	288,463	293,117
営業利益	17,299	22,719
営業外収益		
受取利息	46	15
業務受託料	660	1,000
その他	23	5
営業外収益合計	730	1,021
営業外費用		
支払利息	338	768
社債利息	—	526
支払手数料	904	341
株式交付費	2,438	—
社債発行費	—	3,498
営業外費用合計	3,681	5,134
経常利益	14,348	18,606
特別利益		
知的財産権譲渡益	—	31,461
特別利益合計	—	31,461
特別損失		
減損損失	60,320	45,053
特別損失合計	60,320	45,053
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△45,972	5,014
法人税、住民税及び事業税	1,662	6,056
法人税等調整額	3,172	△5,996
法人税等合計	4,834	59
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△50,806	4,955

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間において、第3回無担保転換社債型新株予約権付社債の一部が権利行使され、資本金及び資本準備金がそれぞれ8,750千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が793,202千円、資本準備金が224,311千円となっております。

4. 補足情報

(重要な設備の新設計画)

当第3四半期累計期間において新たに確定した重要な設備の新設計画は次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	事業部門 の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着工及び完了予定 年月		完成後の 増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
本社 (東京都 千代田区)	全社	ソフトウェア	30,000	17,226	自己資金	平成28年 10月	平成29年 4月	(注) 3
		ソフトウェア	未定 (注) 4	14,004	自己資金	平成28年 10月	平成29年 6月	(注) 3

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. ソフトウェアにはソフトウェア仮勘定を含んでおります。

3. 完成後の増加能力につきましては、合理的な算出が困難なため記載しておりません。

4. 投資予定の総額については未確定であるため、未定としております。